

2019年7月12日

森哲男三田市長様

藍中学校を守り育てる会  
三田市つつじが丘南  
3  
他

### 要望書

藍中学校と長坂中学校の統合について、6月6日、森三田市長は記者会見において「藍中学校と長坂中学校の再編協議は取り下げ、行政案をたたき台にするのではなく、白紙の中で一から地域と作り上げていきたい」と発表しました。

しかし、6月19日の市議会でのこの問題に対する教育長の答弁は、この6月6日の白紙撤回を「藍中学校の存続を決定したものではない、小規模校としていくための条件を整備することでもない」でした。再編計画はそのままであり、長坂中学校を藍中学校にもっていくこともあるかもしれないという、大枠は「藍中学校と長坂中学校を統合させる」という前提のもとで地元の協議を再開させようとするものであることがわかりました。

地元では「白紙撤回」「藍中は存続」という号外まで出ました。地元の住民を欺くこのような「白紙撤回」の内容は受け入れがたいものです。

三田市と教育委員会の提案は『数合わせ』であり、学校がなくなることによる子どもたちと藍地域への配慮が感じられません。子どもたちが少なくなるという現実を前にして私たちが願うことは、三田市は統廃合で地元を疲弊させるのではなく、若い人を呼び込める魅力ある藍地域にするための支援をしてほしいのです。

私たちは以下のことを要望します。

1. 6月6日の市長による「白紙撤回」（白紙ではなかった）はどのような経過でなされたのか。市長が地元に来て住民にわかるように説明してください。
2. 藍中学校と長坂中学校を統合させるという三田市の再編計画の真の白紙撤回を求めます。
3. 藍中学校を小規模校として残し、専科の教師の増員を三田市の予算で行ってください。
4. 藍地域に若い家族が移り住みやすくなる地域再生計画を三田市が作ってください。